

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番



ちかい

1. 海のような広い心で団結し すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い 立派な海の子になります。

第54回日本海洋少年団全国大会 団長等会議を開催

日本連盟は、10月20日(土)、東京都大田区(東京都大田区)内の美原文化センター第1集会室において、大会役員、実行委員のほかに、全国から17団の団長等25名の出席のもと、第54回日本海洋少年団全国大会団長等会議を開催した。

競技等

8月2日 集結、記念撮影、競技委員会

その他

8月3日 オリリンピックセンター大体育館での開会式、ロープワーク競技、手旗競技、基本動作競技、団長会議

参加費

8月4日 ふるさとの浜辺公園でのカッター競技、カヌー競技、閉会式

その他

一人1万7千円

海外団の招請を行う

☆全国大会要綱等について

開催日程

2019年8月2日(金)から4日(日)まで

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)及び



第54回大会は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの前の開催となり、第52回大会で海上競技

を行った、「お台場浜辺公園」が使用できない可能性があることから、「ふるさとの浜辺公園」に場所を移して開催すること、また、海洋少年団の姿を都民の皆様にってもらう機会を増やし、海洋少年団の存在をアピールするため、4日のオリンピックセンターからふるさとの浜辺公園までの移動については、公共交通機関等を利用す



ることで計画している。このため、この会議に先立ち、団長等にはオリンピックセンター最寄駅の小田急線「参宮橋駅」からJR京浜東北線「大森駅」までは鉄道で、JR「大森駅」から「ふるさとの浜辺公園」までは京浜急行バス(大会当日は貸切バス)を利用して実際に移動を体験してもらった。また、ふるさとの浜辺公園にも立ち寄り計画されているカッターカヌー競技会場の視察を行った。

移動については、移動する団の負担軽減のため、あらかじめルート図を作成し各班に配布すること、移動時にガイドをつけること、トラブルが発生した際の安全対策を作成すること等の説明により、各団の了解をいただき、今後より具体的な要領を作成していくこととした。



八戸海洋少年団では、平成30年9月2日に、名誉総裁高円宮絢子女王殿下並びに高円宮妃殿下をお迎えして訓練のご視察を受けました。

名誉総裁をお迎えして 八戸海洋少年団

八戸海洋少年団では、このたびは、ご視察の機会をいただき、誠にありがとうございました。ご視察の際は、団員との懇談に臨まれ、日ごろの海洋少年団活動や入団した動機、海洋少年団活動で楽しかったことなど、お聞きになりました。

今回のご視察を契機に、ますます活動に励みます。ご視察を契機に、ますます活動に励みます。

香港では、ドラゴンボート体験や、水上警察などの公的機関や船舶系の学校、博物館等の見学などを行った。ドラゴンボートは、私にとってもだが、初めて体験するという人が多かった。練習の合間には、ボートから海へ飛び込んだりもした。水上警察や学校は、

「香港交流に参加して」 目白台団 指導者 栗栖あるま

8月5日から13日までの9日間、香港にて国際交流が行われた。今回、日本からは男子3名、女子2名、計5名の団員が参加した。参加国は、日本と香港のほか、スウェーデン、イギリス、アメリカ、韓国、カナダの計7か国であった。団員たちは最初、英語圏かそうでないかで分かれており、交流に馴染むのがなかなか難しかった。

しかし、宿舎も部屋割りも9日間を通して変わらなかったこと、様々な国の人が同じ部屋になるように工夫されていたことなどから、徐々に交流が増えていった。

香港では、ドラゴンボート体験や、水上警察などの公的機関や船舶系の学校、博物館等の見学などを行った。ドラゴンボートは、私にとってもだが、初めて体験するという人が多かった。練習の合間には、ボートから海へ飛び込んだりもした。水上警察や学校は、

- 今月の主な記事
- 2面 海つ子ななま(豊橋団)
 - 2面~3面 国際交流(香港)感想文
 - 3面 各団ニュース(音楽隊、南勢団、高知団、きさらび団)、4コママンガ
 - 4面 我ら海の子展受賞作品

2018年国際交流(派遣事業)

本年度の国際交流は、香港と韓国へ日本の指導者・団員を派遣しました。今月号は香港交流参加者の感想文を掲載します。(続きは2、3面に掲載) 韓国交流参加者の感想文は次号に掲載します。

2018年の国際海洋少年団協年会次総会は香港で開催 来たる11月16日(土)21日(水)の2泊3日の日程で開催される。日本からは、海洋少年団50周年記念パレードや香港海洋少年団のトレーニングの様子などを見学する。

海っ子なかま集まれ!

団員募集活動について

豊橋海洋少年団では、新入団員を募集するにあたって様々な取り組みをしてきた。当団は毎年4月初め

には募集活動をしながらも100人を超す入団希望者の年もあった。その後、時代の流れもあってか一人も希望者がいない年もあり、団存続の危機を感じた。それ以来、工夫した募集活動に力を入れはじめた。



以前は、市内の名簿業者に依頼して、その年の4月に新4年生になる子供にダイレクトメールを送り、通常の訓練への見学を含め

全国の海洋少年団で行っている団員募集方法や新しい試みに成功した例をお伝えします。シリーズ7回目は豊橋団です。

た案内をしているだけであつた。しかしながら、年々、入団希望者が減ってきていた。またそれと同時に、個人情報への入手が難しくな

団員募集ではなく 体験しませんか!

そのため、海洋少年団の「入団募集」のチラシを小学校で配ってもらえないかと担当の課に相談しても、前述の理由により断られてしまった。

しかしながら、行事やお知らせ、参加ののちであれば可能なことだったので、表向きには「団員募集」ではな



く「体験訓練」としてチラシを作成したところ、小学校へ配布してもらえないようになった。また当日の体験できる内容についてもやっ

は「参加してくれる子供が何か体験できるもの」である。造船所の見学を企画したこともあつたが、一緒に来た大人の方が興味を持ってく

今年2月3日(日)三河湾島めぐり、3月4日(日)乗船体験・飯ごう炊飯と2つのイベントを企画。島めぐりは22名の子供が参加、乗船体験・飯ごう炊飯は総勢24名のうち、子供15名の参加があり、その中で6名の新入団員を4月に迎えることができた。

今後は、夏にキャンプを通じた海の活動でも募集が行えないか団員増加に向けた取り組みは続く。

「海外派遣を終えて」

敦賀団 春山 駿翼

今回の海外派遣では、普段なら体験できないようなことをたくさん経験することができました。また、海外の友達を作ることでもでき交流もたくさんすることができました。最初は、日本と香港

「香港の思い出」

敦賀団 橋詰 昇歩

今回この海外研修に参加して、いろいろな事が学べたし、なにより日本の気候が変わらず、普段通りに体調も崩さず過ごせました。



僕が英語が全然しゃべれず、かつ人見知りでしたが、何日か経ってだいぶ慣れ、初日よりしゃべれるようになり、何人かの人達と仲良くなる事が出来ました。その子たちとはSNSで繋がりが、今でも定期的に話しています。この海外研修がなければ、その子達と知り合うこともなかったと思います。

今回の香港に行くまで香港がどこにあり、どんな国なのかも知りませんでした。でもこの研修を通じて香港について良く知ることができました。

今回の派遣では、本当にいろいろな体験をすることができ、派遣に行く前よりも自分の世界の観が変わり視野が広がった気がします。これからは今回の海外派遣で学んだことや普段の生活に役立てたいと思います。

2018年国際交流in香港 参加者感想文

目白台団 笠原 結香

私は、今回参加した香港の国際交流で、とても充実した日々を過



にたくさん友達を作ることが出来ました。羽田空港から香港まで、飛行機で4時間半ほどかかりました。飛行機の中では、映画や音楽、機内食などたくさん楽しめました。機内食のデザートにハーゲンダッツが出たのに

は驚きました。到着してから、現地友達と再会して、バンズで宿舎に向かいました。日本と違って、建物がみんな高くてまた驚きました。部屋はユニット型になっていて、個室は2人で共有でした。私はカナダの団員と同じ個室、香港とイギリスの団員と同じ部屋になりました。初日から、みんなでお土産を交換したり、お菓子を食べたりして、すぐ打ち解けることが出来ました。2日目の夜にはセントラルプラザで歓迎会がありました。75階からの景色は本当に綺麗でした。歓迎会では、他の部屋の団員とも仲良くな

る事が出来ました。押し相撲をしたり、じゃんけんをしたり、好きなアーティストについて話したり、とても楽しかったです。次の日からはドラゴンボートに乗ったり、民間航空署や博物館に行ったり、観光をしました。すべて英語の説明でしたが、とても聞き取りやすく、わからない単語があっても仲良くなった団員にすぐに教えてもらえたので良かったです。文化交流パーティーや、バラエティーショーでは、前に出て発表したりしました。また夜には、みんなで卓球をしたり、バスケットボールをしたりして、さら

な所も見ることができ、本当にいい経験ができました。なのでこれからも今回の派遣でできた海外の友達と連絡をとりあって少しずつ英語ができるようになっていけばいいなと思いました。



「香港交流で他文化を学ぶ」

目白台団 近藤 歩

私は今回、香港派遣に参加して、参加各国のお国柄の多様さに驚きました。まず香港に到着して思ったのは香港の人はみな優しく、とてもフレンドリーだったことです。彼らのおかげで香港での9日間を楽しく過ごすことが出来ました。

参加した各国それぞれが皆個性的で、国によって朝からバスの中

訪れた場所の中でも非常に印象に残っているのが博物館で、歴史に関する記述のところ必ず第二次世界大戦時の日本統治について書かれているのが印象に残りました。日本で世界史、日本史について学んでいてもあまり第二次世界大戦中の日本の香港統治にクローズアップして学ぶことはできませんが、彼らにとってはそれが大きな歴史の一つであるという直に感じることが出来ました。

その一方で、車が左側通行であったこと、香港に多くの日本の製品があったこと、そして香港の人たちが優しく、私たちにとてもフレンドリーに接してくれました。親近感がわくと同時に非常に嬉しかったです。

この香港派遣を通じて、多様なバックグラウンドを持つ人と関わり、他文化を知ろうとするその姿勢の大切さを身をもって学ぶことが出来ました。

「香港に行つての感想」

岩国団 甲方 華菜



私は5日から13日まで香港に行きました。香港はとっても高いビルがあって私の住んでいる所とは違ってとても都会でした。私は一軒家にすんでいます。香港には一軒家が見るかぎりなかったです。私が一番困ったのが食べ物です。日本とちがってお茶みたいなのがなかったです。私は好んでジュースなど飲まないので少し困ってしまいました。それから困ったのは英語で

す。これから行くみなさんは絶対英語は勉強したほうがいいと思います。私は後悔しました。それ以外の事は、とくに困りませんでした。楽しかった事はたくさんありました。とくに印象に残ったのはドラゴンボートでした。一つのボートに15人ぐらいのってこぎました。最初はあんまり上手いかなかったです。やってみると、この香港で最後は、この香港で仲間や友達ができたように思いました。すごく楽しかったです。ありがとうございました。

大田区団音楽隊

☆音楽隊も募金に一役☆



去る6月24日、大田区団音楽隊(日本連盟音楽隊)と大田区団は、それぞれ午前中の練習や訓練を済ませ、午後1時にJR蒲田駅に合流し、青い羽根募金活動を行った。

大きな横断幕を掲げて大声を出し、往来する人々の注目の的となっていた。

短時間であったが、日本海洋少年団「此処に在り」と暗黙のうち

大衆に知らしめる一助として広報活動の役目を果たした。

南勢団

☆海と川の掃除に参加して☆



台風21号通過後の9月9日(日)に、外湾漁協五ヶ所事業所と真珠組合主催の清掃活動に参加しました。例年の5倍ほどのごみが打ち寄せられ、あつという間にゴミ袋がいっぱいになりました。

手では運べないほどの大きな材木もあり台風の強さを実感しました。

その他ロープやプラスチックの浮玉、漁網の切れ端など漁業資材が主なものでした。空き缶や瓶は少なかったです。

団員・保護者・指導員13名が地域の方々と一緒に一生涯懸命な活動なので毎年続けていきたいです。

高知団

☆初の県外遠征(瀬戸内海体験乗船訓練)☆



高知団は、初の県外遠征により瀬戸内海において体験乗船訓練を実施しました。

ご協力頂いたのは、山口県大島町「大島高等商船専門学校」所属の大島丸(28ト)です。

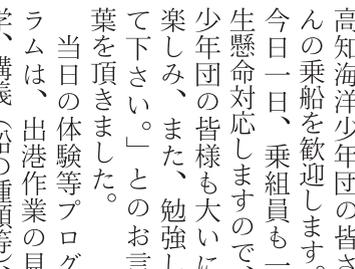
7月15日午前6時30分、団員16名、団長他指導員5名、その他保護者等関係者を含め41名は、バスに乗り高知市を出発、豪雨災害により完全復旧していない高知道、松山道を経由し松山市三津浜港へ向かいました。

当日は、天候に恵まれ快晴の一日となり、午前10時前バスは港に到着しました。

大島丸では、すでに出航準備を整え、船長以下多くの乗組員の方々のお出迎えを受けました。早速、少年団も整列し、乗船式が行われ、船長から「乗組員一同、

高知海洋少年団の皆さん

☆初の県外遠征(瀬戸内海体験乗船訓練)☆



高知海洋少年団の皆さんの乗船を歓迎します。今日一日、乗組員も一生懸命対応しますので、少年団の皆様も大いに楽しみ、また、勉強して下さい。」とお言葉を頂きました。

当日の体験等プログラムは、出港作業の見学、講義(船の種類等)、総員乗船訓練(救命胴衣のつけ方等)、実習体験(航海、機関関係)、入出港作業見学等が組み込まれ、団員一同、胸を弾ませ瀬戸内海の海原にむけ出港していきま

港外に出ると目についたのは多くの流木などの漂流物です。乗組員の方が「先日の西日

大島丸においては、工夫を凝らした講義、航海中の緊急事態対応、船橋において実際に舵を持たせてもらっての操船体験など団員にとっては、約5時間にも及ぶ貴重な乗船訓練を体験させて頂き、団員の海、船に対する意識形成にも大いに役立ったものと、団長以下指導員一同、感謝している次第です。

きんりん団

☆カッター体験会☆

木更津市では、毎年9月の連休にあわせ(今年は9月23日)「みなと木更津うみ祭り」を開催しています。ゴーカートのような電動のキッズボートやヨットクルーズまで、気軽に体験できる日です。

このうみ祭りは毎年規模を拡大していて、今年からは、「KISAR



AZU PARK BAY FESTIVAL)とゆうネーミングに変わり、打ち上げ花火にて終了を迎えるという華々しいイベントになりました。

きさらび団では、毎年カッター体験を担当しています。小さなお子様から、年配の方まで幅広く体験して頂き、「楽しかった!」の一言に、安全に楽しくサポートできたのではないかと嬉しさと安堵を覚えます。

地域の皆様とのふれ

うみた ひろみ VOL.144
海太と洋美 作・ちほへーた

ロック(閘門) ころもん

船のエレベーターかな

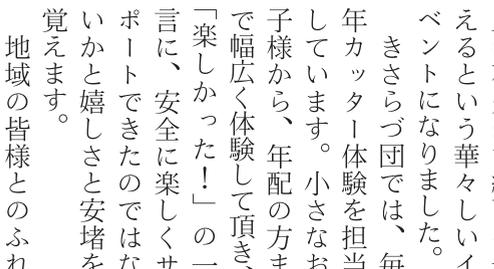
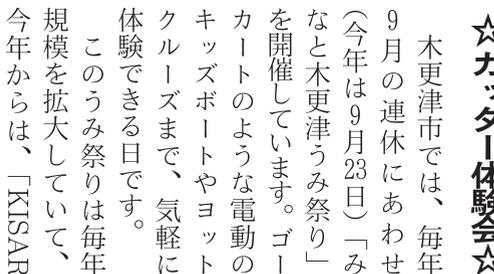
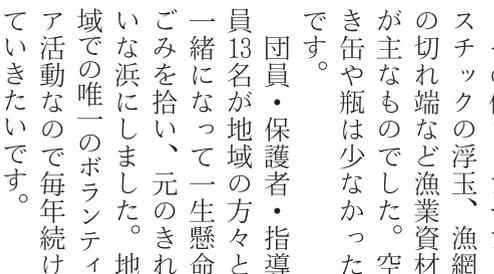
水が入り、船が上がる

海太は、いい日本に

お・お・お...

え〜と〜ね...

団長にきこいてる??



第 46 回 絵画コンクール

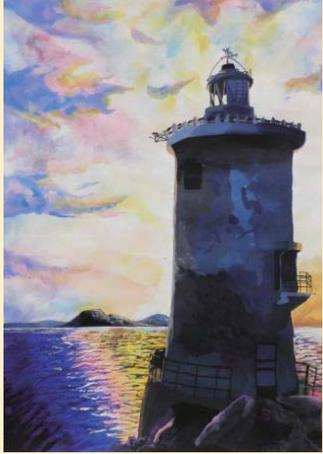
我ら海の子展

受賞作品

☆今後の展示会予定☆

- ① 11月12日～16日 「国土交通省」1階ロビー(東京都)
- ② 12月 8日～1月 6日 「海の科学館」(香川県)
- ③ 1月16日～2月17日 「氷川丸」(神奈川県)

国土交通大臣賞 中学生の部



「伊良湖岬灯台の夕焼け」
横山 智樹(中1) 群馬県

夕焼けと海のコントラストが鮮やか。幻想的な空の風合いとともに灯台を上手く引き立てています。
国土交通大臣 石井 啓一

国土交通大臣賞 小学生高学年の部

国土交通大臣 石井 啓一

繊細かつ大胆なタッチで素晴らしい。親子の生き生きとした表情が伝わり、立体感のある作品です。



「白熊の親子」
中里 麻衣(小5) 群馬県

国土交通大臣賞 小学生低学年以下の部

国土交通大臣 石井 啓一

色が鮮やかで見ると人を惹きつける。画面いっぱいの迫力のつつほの躍動感が伝わる不思議な感じのする作品です。



「大きなウツボはっけん」
馬淵 天希(小2) 徳島県

日本海洋少年団連盟会長賞

公益社団法人日本海洋少年団連盟 会長 宮原 耕治

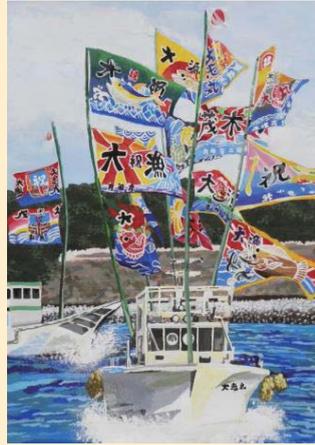
それぞれの学年で素敵な絵ばかりでしたが、海や空の色と桃色の船の色合いがとても良いです。



「大きなヨット」
河 るあ(年中) 東京都

サークルクラブ協会理事長賞

一般財団法人サークルクラブ協会 理事長 鈴木 雅子



「海の恵みに感謝して」
茂木 俊輔(中1) 群馬県

絵画全体から溢れ出てくるようなエナジーを感じます。風にたなびく沢山の漁旗や波しぶきの躍動感が、海の恵みを強く喜ぶをよよく表している、とても力強い作品です。

日本船主協会会長賞

一般社団法人日本船主協会 会長 武藤 光一

この絵を見た瞬間にニコッと微笑んでしまいました。年長さんが楽しそうに描いている光景が眼に浮かびます。



「かわいいふね」
真下 怜(年長) 愛知県

近藤記念海事財団理事長賞

一般財団法人近藤記念海事財団 理事長 兼坂 政樹

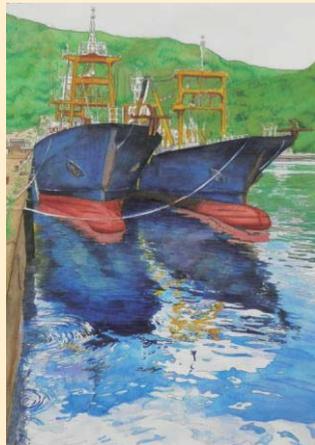
ピエト・モンドリアンという作家を連想させるような画風で、とても素晴らしいです。色彩も独特で、ペンギンの親子も楽しそうに描かれています。



「ペンギンの親子」
小田切 聖菜(年中) 東京都

山縣記念財団理事長賞

一般財団法人山縣記念財団 理事長 郷古 達也



「波紋」
長嶋 かのこ(中3) 長崎県

船が2隻、双子のように仲良く、可愛く、並んでいる。波間の色使いもつやよく、不思議さを出している。船の可愛さ、海の不思議さに魅力を感じ、選ばせて頂きました。

グリーンクロスジャパン理事長賞

一般財団法人グリーンクロスジャパン 理事長 岩崎 照皇

網を引っ張る人の様子が力強く、味わい深いものになっています。今にも動き出しそうな、その場の雰囲気上手に表現されています。



「定置網漁」
榎本 陸斗(小6) 広島県

安倍昭恵賞



「鳥と海」
大岡 京奈(中3) 兵庫県

海に佇む鳥が、逆光の表現で心情まで描かれているようで、素晴らしい絵です。素敵な作品ばかりでしたが、最後までこの鳥に気持ちが惹かれて選びました。

さかなクン賞



「豊かな日本の海産資源
～おいしいおいしい魚たち～」
平山 祈湊(中1) 東京都

海の大切な仲間が大集ギョ～!! 私たちが、普段おいしく、ありがたくいただく魚介類がギョ～縮されて、見た瞬間にパワーをいただきます。お魚や海藻やイカが重なって立体感もハンパじゃありません!! 海とお魚への強い思い!! 感謝の気持ちが大好きです!!

河井ハツ子賞



「カジキマグロのおにごっこ」
吉田 湧羅(小3) 奈良県

パツと目を引く、迫力満点のカジキです。海の中でスピード感と奥行きもうまく表現されています。元気いっぱい楽しんで、海の絵を描いてください。

榎木孝明賞



「海 命の輝き」
中条 匠晴(中1) 神奈川県

一所懸命さはもちろん、物語がある作品を選びました。動きのある絵、おじさんの笑顔に惹かれるものがありました。色使いも中間色がとても綺麗です。